

科目番号	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
15135	沖縄美術工芸史	2単位 後期	1~2	講義	新田 摂子

■テーマ 沖縄美術工芸史の基礎知識

■授業概要

琉球・沖縄では、その歴史と風土を反映し、独特の造形と美意識が育まれてきました。残念ながら沖縄戦で文化財の多くが失われましたが、遺された作品や戦前の写真、これまでの研究成果によって、その概略を知ることができます。この講義では、古琉球時代から現代に至るまでの、さまざまな美術工芸の歴史と特色を概説します。

■到達目標

- ・沖縄美術工芸史について基礎的な知識が備わり、作品を観察して造形的特徴を見出すことができる。
- ・沖縄美術工芸の歴史的背景、図像、技法等について文献を調査し、正確な情報を得ることができる。
- ・沖縄美術工芸史について、情報を整理し、さらに自分の意見を加味して、合理的な論述ができる。

■授業計画・方法

1. 沖縄の風土と美術工芸
2. 古琉球の漆芸
3. グスクと石造彫刻
4. 荒焼と上焼の系譜
5. 王都首里の織物
6. 宮廷画家の中国留学とその作品
7. 貝摺奉行所と近世漆器
8. 壺屋焼
9. 紅型の美
10. 島々の織物
11. 沖縄工芸の近代
12. 戦前・戦後の絵画
13. 工芸の復興と展開
14. 現代沖縄の美術工芸
15. まとめ。

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・授業の前に教科書の該当箇所を読んでくること。
 - ・琉球・沖縄史の基礎知識が必要となるので、自習してくることが望ましい。
- なお、レポート作成のために、美術館や博物館の入場料が必要になる場合があります。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（20%）、コメントペーパー（20%）、学期末レポート（60%）を評価の対象とします。毎回の授業時間内に、その日の授業内容に関するコメントペーパーを書いてもらいます。また学期末にレポートを課します（詳細は授業中に知らせる）。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価します。

■教科書・参考文献（作品）等

□教科書 宮城篤正監修『すぐわかる沖縄の美術』東京美術、2,310円

学期始めに大学に特設される販売所で購入できます。また県内大手書店、ネット書店でも購入可能。